

ユーザーマニュアル

デジタルサイネージディスプレイ

超高輝度 “DS シリーズ”

DS491LT4 *New Version*



この度はお買い上げいただき誠に有難うございます。ご使用前に本取り扱い説明書をよくお読みになり正しくお使いください。3 ページの安全に関するご注意事項は必ずお読みください。本書は大切に保管ください。

本書で使用される図表等は参照用のみです。実際の製品とは異なる場合があります。製品的设计および仕様を予告なく変更することがございます。

HDMI™

目次

安全上の注意事項	3
セットと付属品の確認	5
同梱物の確認	5
リモコンの電池の挿入/交換	6
設置	7
マウント	7
設置方向	8
設置条件	9
天井から吊るす場合・壁かけ	10
電源への接続	11
外部ビデオソースに接続する	11
ビデオウォール用に複数のディスプレイに接続する	12
コネクタの配列	13
入力/出力端子	13
操作説明	14
ディスプレイの電源を入れる/切る	14
リモコンの使用法	14
リアパネルコントロールスイッチの使用法	16
オンスクリーンディスプレイ (OSD)メニュー操作方法	17
仕様	22
入力モード	22
ピン配列	23
デジタル RGB 入力 (DVI-D): DVI	23
RS-232 入力	24
トラブルシューティング	25
DSM365 について	26

電波障害に関するご注意

この装置は、クラス A 相当の情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。その場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- * 本製品をラジオ・テレビ受信機から十分離して別のコンセントに接続下さい。
- * この製品に接続するケーブルはシールドされたものをご使用ください。

本製品の廃棄

本製品を破棄する場合は地域や地方自治体などの規制に従って処置ください。

商標に関する情報

- * HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- * DisplayPort は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
- * Android™ は Google LLC の商標です。

免責事項について

- * 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用その他異常な条件下での使用によって生じた損害に対して当社は一切の責任を負いません。
- * 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害に関し当社は一切の責任を負いません。
- * 取付/取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関し当社は一切の責任を負いません。
- * 誤操作や静電気などのノイズにより本製品に記憶されたデータなどが変化/消失することがあります。これらの場合に当社は一切の責任を負いません。

安全上の注意事項

～必ずお読みください。～

本項では製品を安全にお使い頂くための重要事項が記載されています。よくご理解下さい。

[記号の意味]

	本記号は禁止（してはいけないこと）を示します。		本記号は指示（しなければならないこと）を示します。		本記号は注意（気を付ける必要があること）を示します。
---	-------------------------	---	---------------------------	---	----------------------------

 警告 この条項を守らないと大けがや重大な事故につながる可能性があります。	
	ディスプレイは濡れた場所に設置せず、また花瓶など液体が入った物は機器の上に置かないでください。
	ディスプレイは灯油などの可燃性または揮発性の液体の側に設置しないでください。
	ディスプレイはラジエーターなど、発熱する機器の側に設置しないでください。
	ディスプレイはホコリの多い場所に設置しないでください。
	電源コードおよびプラグを破損させないでください。重い物の下敷きにしたり引っ張ったりねじったりしないでください。
	スクリーンを解体すると感電の恐れがありますのでお止めください。
	濡れた手でスクリーンに触れると感電の恐れがありますのでお止めください。保守点検は販売店へお問い合わせください。
	煙や異常音、変なにおいがする場合はすぐに電源を切りプラグをはずし、取扱店までご連絡ください。
	内部に水や遺物が入った場合は電源を切りプラグをコンセントから抜いて取扱店にご連絡ください。
	電源は正しい電源電圧のコンセントを使用してください。電源コードは本体の付属品を使用してください。
	機器を落としたりキャビネットが破損した場合、ひび割れや以上な振動など構造的異常が発生した際は電源を切りプラグをコンセントから抜いてください。
	転倒・落下防止の処置をすること。落下などによるけがを防ぐため、設置時に処置をしてください。要領は設置環境にも関連しますので、設置業者にご相談ください。
	雷が鳴りだしたら本体、電源コード、本体に接続された機器、ケーブル類には触れないでください。
	アースを接続すること。アースが接続されないで万が一漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。また、静電気で機器にダメージを与える可能性があります。アースが接続できない場合は専門の工事業者にご相談ください。

 注意 この条項を守らないとけがや機材の破損、事故につながる可能性があります。	
	長時間の使用後は、スクリーン裏のヒートシンクが過熱している場合があります。火傷の恐れがありますので触らないでください。
	スクリーンに鋭利な物体で触れたり、過度に圧力を与えたりするとパネルが破損することがありますのでお止めください。

 注意 この条項を守らないとけがや機材の破損、事故につながる可能性があります。	
	ディスプレイは狭い場所には設置しないで通気性の良い場所に設置してください。通気口やヒートシンクを覆わないようにしてください。
	スクリーン上に物を落とさないでください。
	機器を清掃する前に、電源コードを抜いてください。スクリーンを拭くときはやわらかい乾いた布を使用してください。アルコールまたはその他の液体薬品を使用しないでください。
	温度の高いところ、多湿、埃が多い、或いは煙霧の発生する場所では使用しないでください。
	太陽光が当たり温度が上がる場所ではエアコン・サーキュレーターによる換気で温度を使用条件内に維持してご使用ください。
	本体の取り扱いにご注意ください。水平ではない場所や不安定な物体、振動する物体などの上に置かないようにしてください。落下や破損の原因となります。梱包材は次回運搬時のために保存してください。
	本マニュアルで説明している使用手順に従ってもディスプレイを操作できない場合、稼働しない場合は速やかに電源を切り電源コードをはずしてください。販売店までご連絡ください。
	本機器は通常、標高2000メートル以下の環境で作動します。2000メートル以上の標高で本機器を設置すると異常をきたす可能性があります。
	本機器は家庭ごみとして廃棄しないでください。地域の廃棄物規制に従って正しく処分してください。
	壁掛け設置ではコンクリートまたは表面が不燃性のもののみマウントしてください。設置業者にご確認ください。
	電源コードは建物壁の表面を這わせないこと。又、壁の中、天井、床下等建物の構造上見えない空間を通した設置をしないでください。
	本機器は無線周波エネルギーが発生、および放射します。本機器が発生させる無線周波エネルギーは、FCC(連邦通信委員会)が定める、ばく露制限値を大幅に下回っています。

 **注意** その他のご注意事項

*** 液晶焼き付けに対する推奨操作**

スクリーン上に静止または固定画像を長時間表示し続けると、画面に焼き付けが生じる場合があります。焼き付けを防ぐため、同一の静止または固定画像を長時間表示しないようにご注意頂き、コンテンツの切り替えを行ってください。この画像の焼き付けは、メーカー保証の対象外です。

*** 清掃お手入れについて**

- スクリーン（液晶パネル）

- やわらかい布でスクリーンパネルの埃をふき取ります。
- パネルを拭く際には固い素材のものを使用しないでください。
- 手や鋭利な物体（ペンや爪など）でパネルを突いたり、強い圧力を与えるとパネルが破損する場合があります。
- パネルが変色する恐れがあるため、洗浄液は使用しないでください。

- ディスプレイキャビネット

- 電源コードを抜きます。
- 柔らかい布でケースを拭きます。

お手入れ時の注意事項

ケースの塗料に異常が起こり、ひび割れや剥がれの原因となりますので次の溶剤は使用しないでください：ベンジン溶液、アルカリ溶液、アルコール系洗浄液、ガラスクリーナー、ワックス、ポリッシャー（つや出し剤）、洗剤

セットと付属品の確認

セットの取り出し

上箱を開けセット背面のアクセサリ類が入った箱を取り出します。セットを保護しているビニールを引き下げ、両サイド背面の取手をしっかり握って持ち上げます。

32型・42型については2名で、49型以上の大型は最低4名で作業を行うようにして下さい。75型以上は出来れば業務用のリフト機を利用することを推奨します。

セット取り出し後、あらかじめ準備したウレタンか厚手の保護布マットなど軟らかいものの上に画面を下側にして丁寧に置いてください。適当なものが無ければ取り出した製品のカートンにパッキングを戻しねかせ、その上に画面を下にして置き設置用金具の取付作業等を行うことも出来ます。



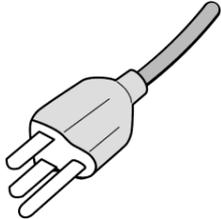
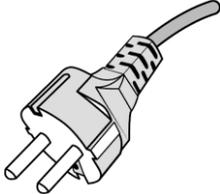
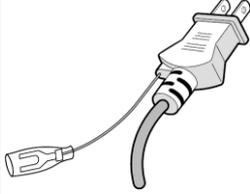
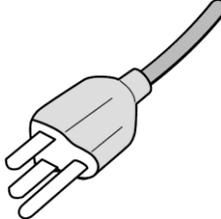
同梱物の確認

下記のアクセサリがディスプレイに付属していることを確認してください。万が一、いずれかが不足している場合は商品をご購入された代理店まで至急ご連絡ください。アクセサリの色や形状は製品によって異なる場合があります。

- ・ DSシリーズLCDディスプレイ本体 x1台
- ・ リモートコントローラー x1個
- ・ 電池 (1.5V/単4) x2本
- ・ 電源ケーブル x1本
- ・ クイックスタートガイド x1枚
- ・ リモコン・照度兼用センサー ESK302 x1個



注意: 付属の電源コードがご使用の地域に適しているかを次の表で確認してください。電源コードがご使用の地域に適合しない場合、販売店までお問い合わせください。地域の安全規制に準拠する様適合する AC ソケットを使用してください。

プラグの種類	北米	欧州全域	日本	台湾
プラグの形状				
地域	米国/カナダ	欧州 (英国を除く)	日本	台湾
電圧	120V	230V	100V	110V
NEMA タイプ	NEMA 5-15	CEE 7/7	NEMA 1-15	NEMA 5-15
IEC Display Plug		 (Type IEC320 C13)		

リモコンの電池の挿入/交換

1. 電池収納カバーを開きます。
2. 新しい単4電池2本を挿入してください。
3. 電池収納カバーを閉じます。



警告:

- 電池の不適切な使用は液漏れまたは爆発の危険性があります。
- 挿入する際には、電池のプラス/マイナスの向きに注意してください。
- 異なるタイプの電池、あるいは新しい電池と古い電池を同時に使用しないでください。電池の寿命を縮め、液漏れを起こす危険性があります。
- 使用後の電池は収納ケース内で液漏れを起こさないよう取り外し、交換してください。
- 電池に液体が付着している場合、液漏れの可能性がありますので触らないでください。肌を傷つける恐れがあります。

注: リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外しておくことを推奨します。

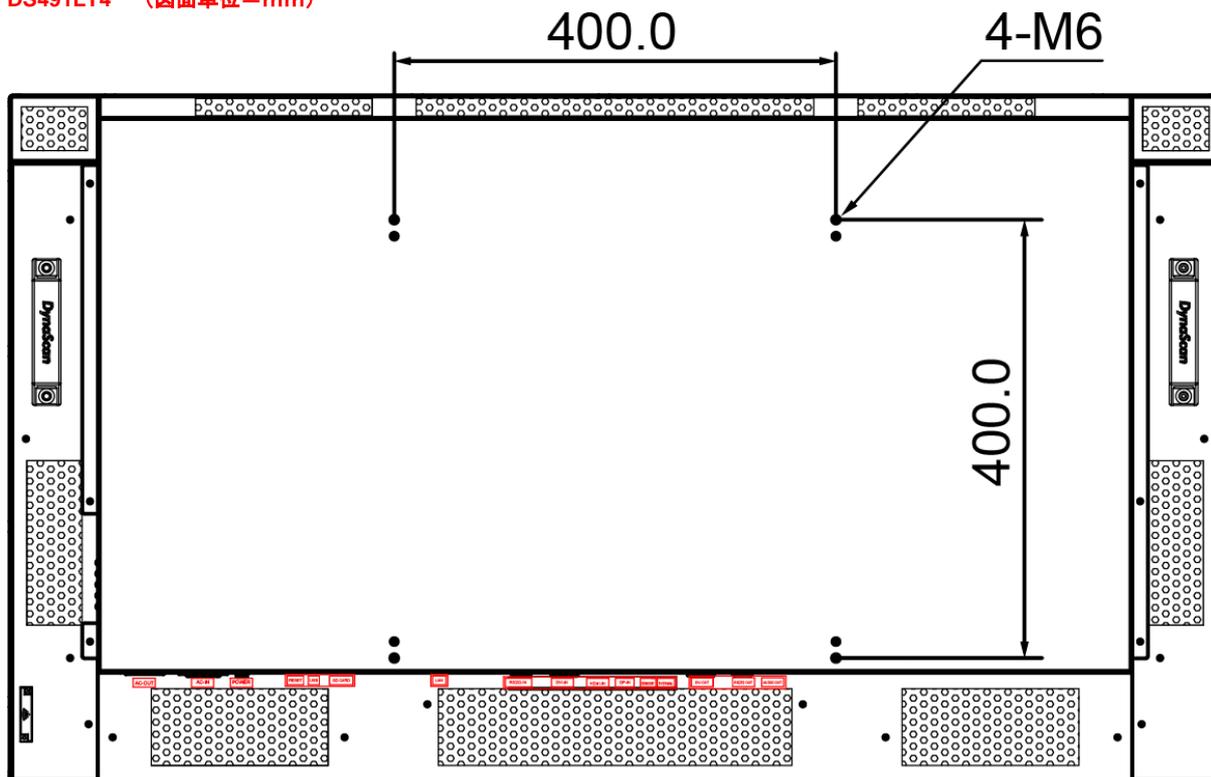
設置について

 本機は屋内用で、設置には VESA 規格に準拠したスタンドや壁掛け用取付金具が必要です。スタンドや取付金具の説明書・指示に従い、正しく設置してください。不適切な設置は怪我や機器の破損につながります。不適切な設置による破損は製品保証の対象外であり、DynaScan はかかる事態に対する一切の責任を負いません。

- ディスプレイ本体を天井から吊るす設置、壁にマウントする場合はユーザーの責任で行って頂きます。天井または壁の強度によっては、ディスプレイを設置できない場合があります。不十分な強度の天井から吊るしたり、直立していない壁にマウントするとセットが落下して重大な怪我の要因となる場合があります。不適切な設置、改造、あるいは天災による破損は製品保証の対象に含まれていません。建築や機器設置の専門業者によりディスプレイの重量を支えられるか等、設置場所の査定が事前に行われる必要があります。設置作業は特殊な技術による工事や適切な壁掛け用取付金具、天吊り用金具が必要になりますので、販売店・専門業者へご相談頂くことをお勧めします。
- 取付を行われる際、設置は 4 名以上で作業頂くことを推奨します。
- 壁掛け用マウント金具は付属アクセサリに含まれていません。VESA 正規の壁掛け用マウント金具を購入してセットを固定してください。正規の壁掛け用取付金具以外を使用することによって発生した破損に対して DynaScan は一切責任を負いません。
- スタンドや壁掛け・天吊り用取付金具は販売店・専門業者にご相談頂き、セットのサイズ・重量・取付穴仕様に適した製品の利用をお勧めします。
- 適切に熱が放散されるよう、機器の通気口やヒートシンクは覆わないでください。
- スタンドメーカーの設置ガイドを参照して、適切にマウントしてください。
- 設置角度は垂直軸に対し 15 度以内にしてください。
- 壁掛け用取付金具を設置する場合は必ず機器の電源を切ってください。感電の危険性があります

モデル番号	VESA (mm)		ねじ仕様	ねじ長さ	数
DS491LT4	(A x B)	400 x 400	M6	10mm 以上 12mm 以下 (壁掛け用マウント金具自身の厚みを除く)	4

DS491LT4 (図面単位=mm)



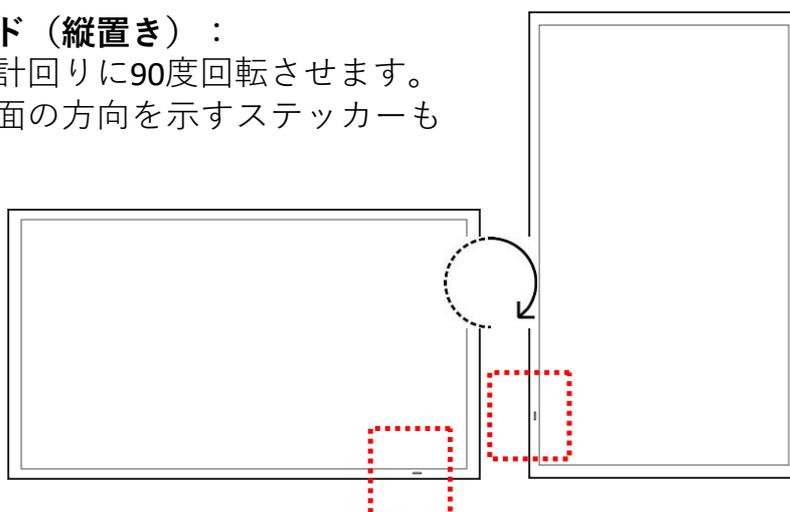
設置方向

- ポートレート向き（縦置き）で設置する場合は、本体はディスプレイに向かって時計回りに回転させ、左側の側面が上になるように設置してください。



ポートレートモード（縦置き）：

ディスプレイを時計回りに90度回転させます。
(必須) セット背面の方向を示すステッカーも
ご確認ください。

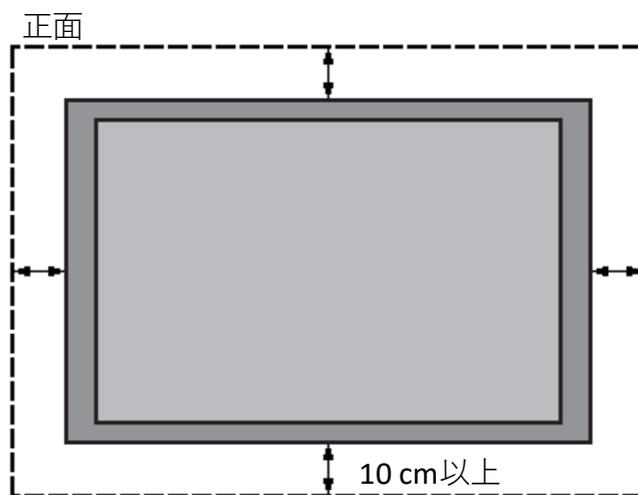




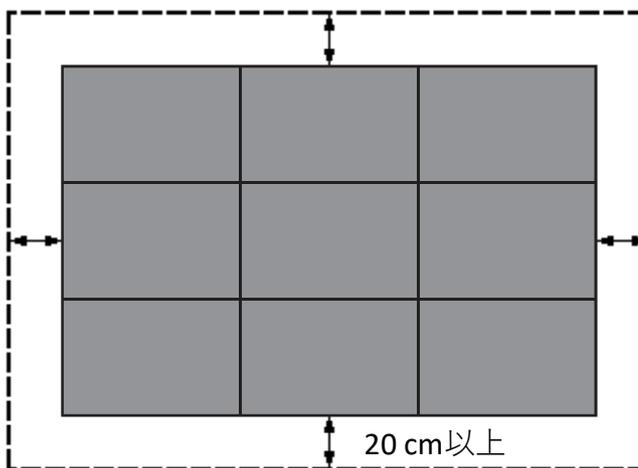
設置場所

- 壁とマウント金具は本体とそのアクセサリを設置するのに十分な強度である必要があります。
- 強い振動がある場所や埃の多い場所には設置しないでください。
- 建物の主要電源コントロールパネル / 配電盤の近くには設置しないでください。
- 関係者以外不特定多数の人が簡単に取り外せない様、本体はしっかり固定してください。
- 適切な通気性を保つため、セット(またはビデオウォールの寸法)の周囲から、できるだけ他の物体を離すようにしてください。
- スクリーンを壁に埋め込む形で設置する場合は、設置条件及び別冊のインストールノートの冷却性および通気性を考慮したエンクロージャ(囲み方)の項目を参照ください。

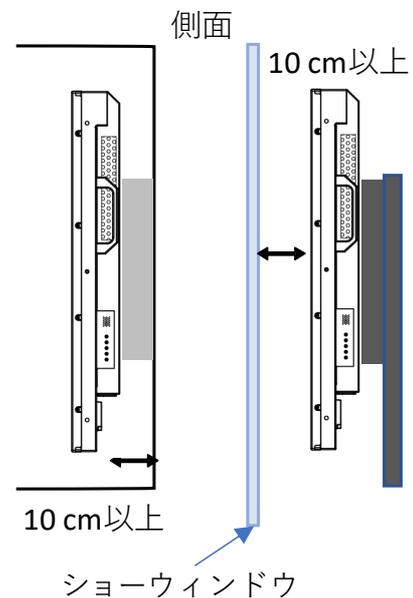
・ 設置条件



単体での設置



ビデオウォール利用での複数台設置



ディスプレイ使用時の周辺温度は0~45度の範囲に保って頂く必要があります。エアコンやエアフローについては別冊の"インストールノート"をご参照ください。

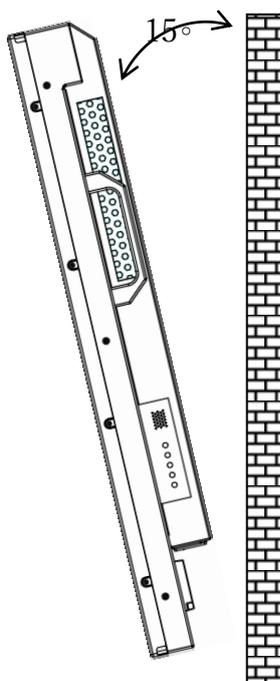
- 輸送時にLCD画面を保護する為にアクリル保護シートが付いていますが、設置完了後取り外して下さい。(乱反射などの原因になります。)

天井から吊るす場合

- 天井は本体とそのアクセサリを設置するのに十分な強度である必要があります。天井の強度を評価する際には、地震、不測の振動、およびその他の外的衝撃を考慮してください。
- 軽量のスチールフレームやインテリアデコレーションなどではなく、梁など建物の構造部分にセットを固定するようにしてください。
- 設置には木ねじや乾式壁用のアンカーを使用しないでください。

壁掛け

- 壁掛け用マウント金具は付属していません。VESA 正規の壁掛け用マウント金具を購入してセットを固定してください。正規の壁掛け用マウント金具以外を使用することによって発生した破損に対して DynaScan は責任を負いません。
- 設置する場所が本体の重量を支えられるかを設置前に建設業者など専門家に確認してください。
- 設置角度は垂直軸に対し 15 度以内にしてください。
- 壁掛け用マウントを設置する場合は、必ず機器の電源を切ってください。感電する危険性があります。



注：図はイメージです。

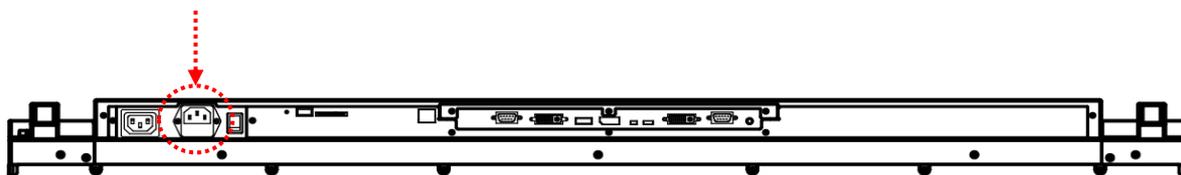
メンテナンス

- 留め具に緩みや変形がないか、定期的を確認してください。問題があった場合には、適切な是正措置をとってください。問題/トラブルを放置しておくとともに悪化する場合があります。
- 過去にメンテナンス修理をした場所は検査回数を増やし、問題/トラブルが再発していないか確認してください。

電源への接続

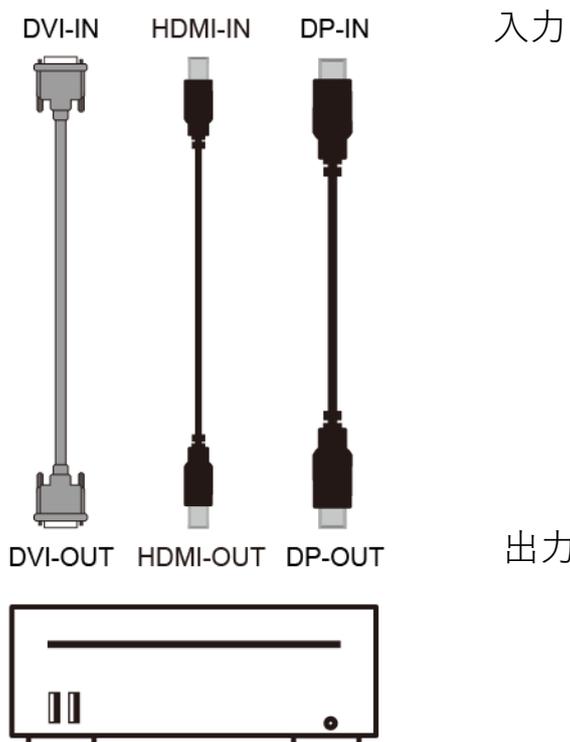
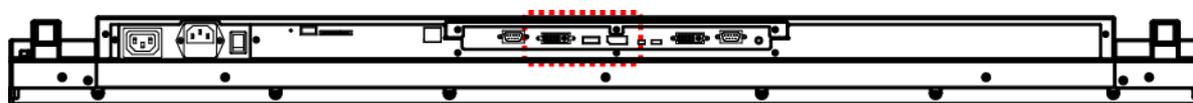
付属の電源ケーブルを、下図の通りにディスプレイの背面に接続します。電源ケーブルをコンセント（100V、50 / 60Hz AC 電源）に接続します。

! プラグはしっかりとソケットに挿入してください。電源の接続が緩い場合、ディスプレイが破損したり火災の危険性があります。
アースを必ず接続ください。接続が出来ない場合は専門の電気工事業者へご相談下さい。



外部ビデオソースに接続する

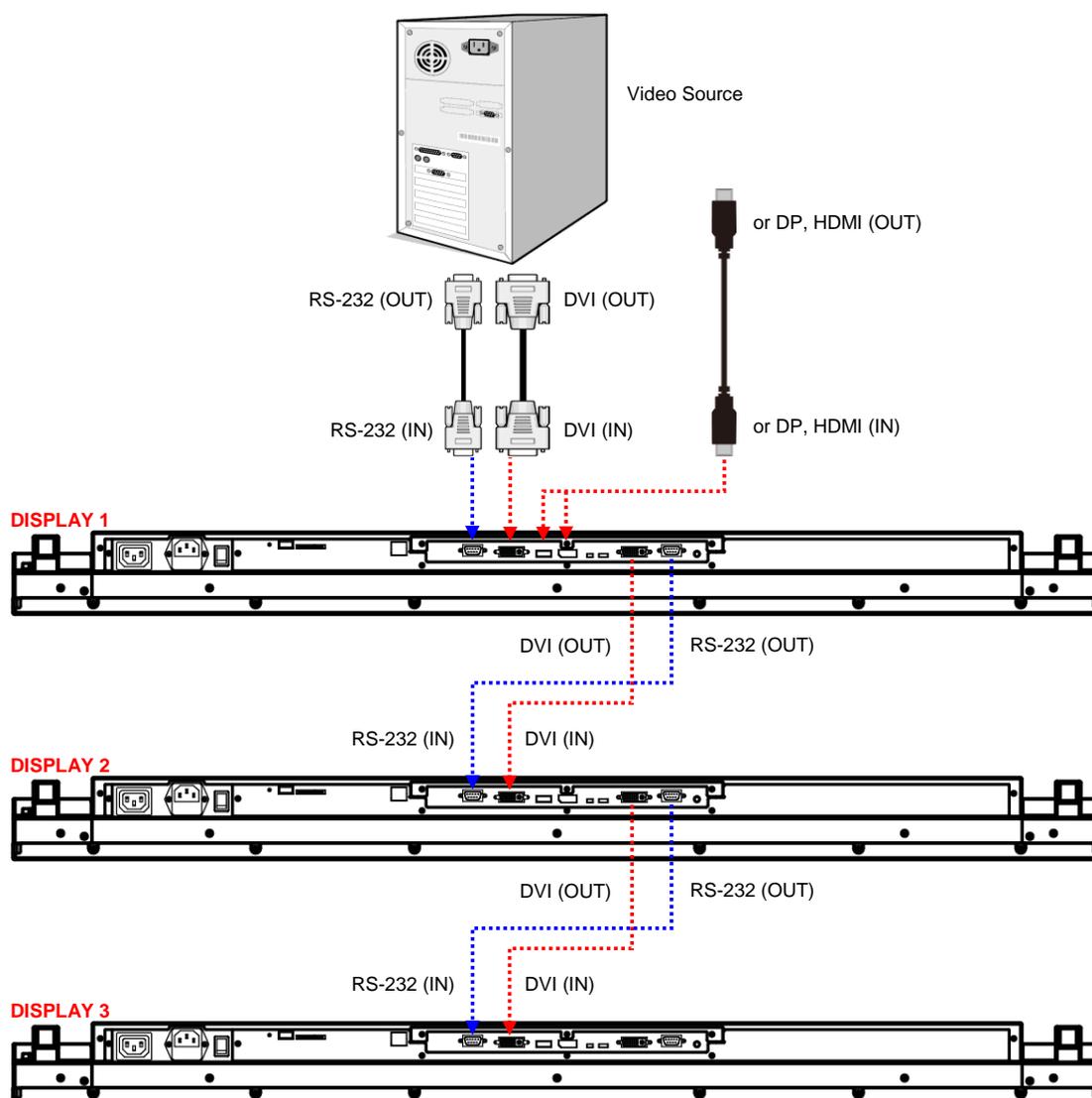
セットおよび外部ビデオ機器、両方の電源をオフにします。DVI ケーブル（または HDMI, DP ケーブル）の一方の端をディスプレイ背面の DVI 入力（または HDMI, DP 入力）に挿入します（下図を参照）。DVI ケーブル（または HDMI, DP ケーブル）のもう一方の端をビデオソースの DVI 出力（または DP 出力）に接続します。詳細につきましては、ご使用になられているビデオ機器のマニュアルを参照してください。



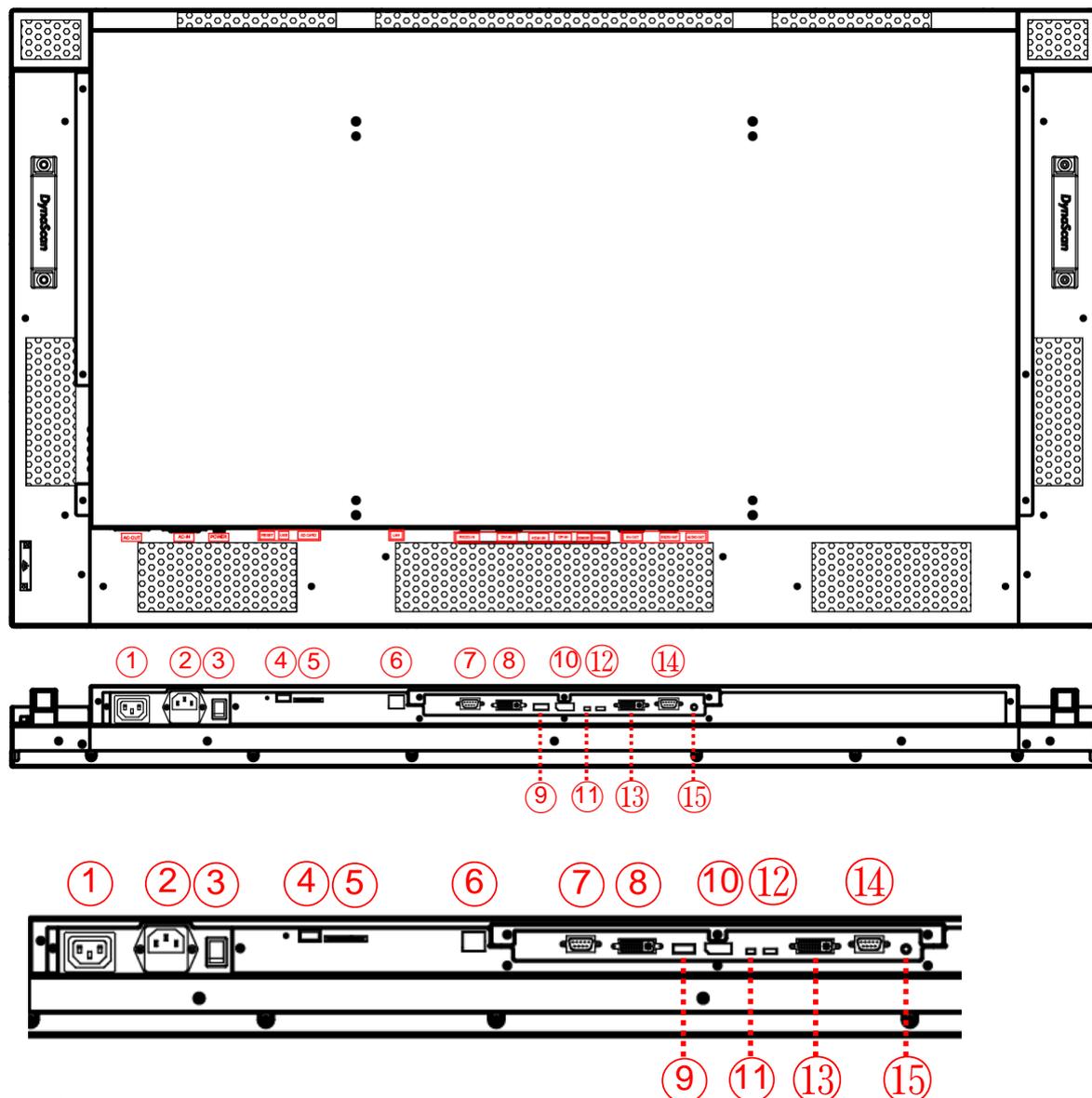
ビデオウォール用に複数のディスプレイに接続する

複数のディスプレイをデージーチェーン接続してビデオウォールとして使用する場合、付属の DVI ケーブル（または DP ケーブル）と RS-232 ケーブルで、ビデオソースを最初のディスプレイに接続します。最初のディスプレイの DVI 出力を、2 つ目のディスプレイの DVI 入力に接続します。最初のディスプレイの RS-232 出力と 2 つ目のディスプレイの RS-232 入力を付属の RS-232 ケーブルで接続します。このステップを残りのディスプレイでも繰り返します。ビデオウォールのサイズおよび各ディスプレイの位置の構成は、OSD メニューまたはディスプレイマネージャーソフトウェアを参照してください。

-  注：ビデオウォールとして使用できる DS491LT4 の最大数は 15 x 15 です。
-  注：External Control（外部コントロール）機能を使用するには、DynaScan「Display Manager（ディスプレイマネージャー）」アプリケーションを PC にインストールする必要があります。同アプリケーション SW については販売店までご確認ください。
-  注：Daisy Chain Setting（デージーチェーン設定、ビデオウォール機能）では解像度 1920 x 1080 (1080p)のみをサポートしています。4K など高解像度のコンテンツをマルチスクリーンで高精細な画面で再生するには、市販のマトリックススイッチャーをご活用下さい。



コネクターの配列



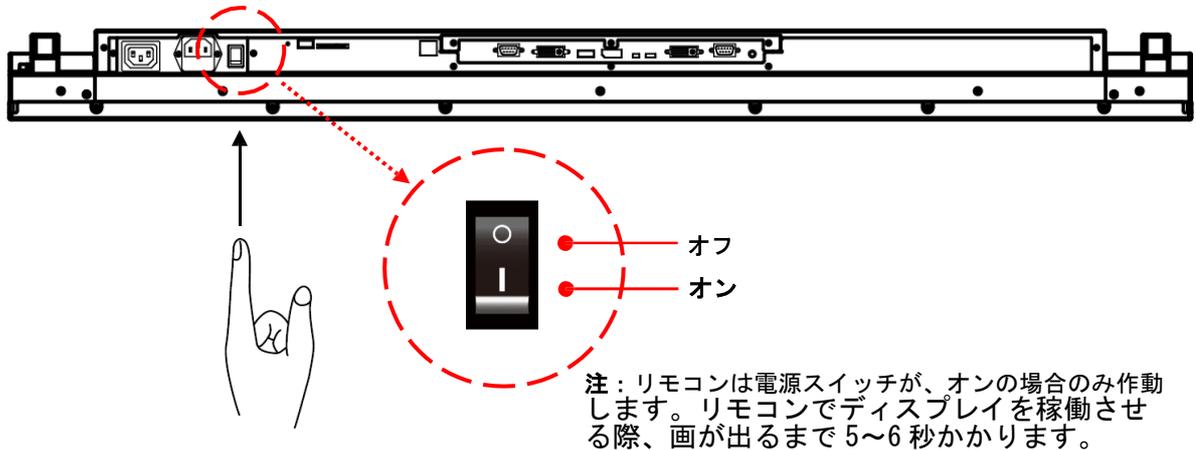
入力/出力端子

1. AC (出力): 110~220V の AC 出力、最大 100W
2. AC (入力): 付属の電源コードとコンセントを接続
3. 電源スイッチ: 主電源のオン/オフを切り換えます。
4. USB ポート: USB フラッシュドライブストレージ、マウス、キーボードに対応
5. SD カード: 32GB までサポート、FAT32/NTFS 形式対応
6. RJ-45 (入力): PC からの遠隔コントロール用 RJ45 ネットワーク入力接続。
7. RS-232 (入力): PC からの遠隔コントロール用 RS-232 ネットワーク入力接続
8. DVI (入力): PC の DVI-D 出力または AV 機器の HDMI 出力を DVI-HDMI ケーブルで接続
9. HDMI (入力) : PC の HDMI 出力または AV 機器の HDMI 出力を HDMI ケーブルで接続
10. DP (入力): PC の DP 出力または AV 機器の DP 出力を DP ケーブルで接続
11. センサー: オプションの IR 拡張センサーキット (ESK302) 用拡張コネクタ
12. サーマル: オプションの IR 拡張サーマルキット (ETK201) 用拡張コネクタ
13. DVI (出力): DVI 入力からの信号を出力。
14. RS-232 (出力): デイジーチェーン用途向けの RS232 コントロール機能。
15. オーディオ (出力): オーディオ信号出力をオーディオ入力端子から外部 AV 機器に接続

操作説明

ディスプレイのメイン電源を入れる/切る

ディスプレイ電源のオン/オフは、ディスプレイ背面の電源スイッチを押します（下図を参照）。

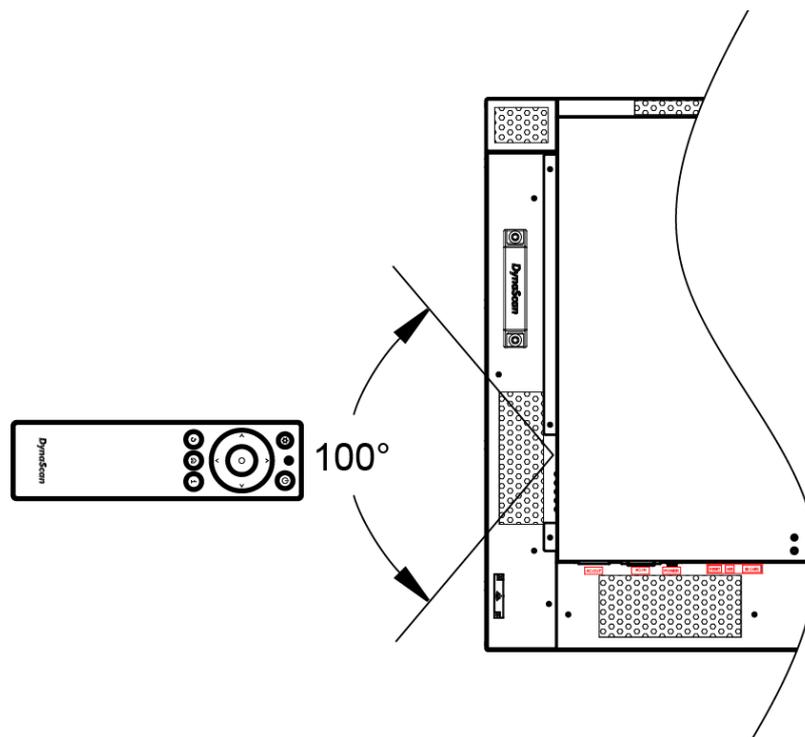


リモコンの使用法

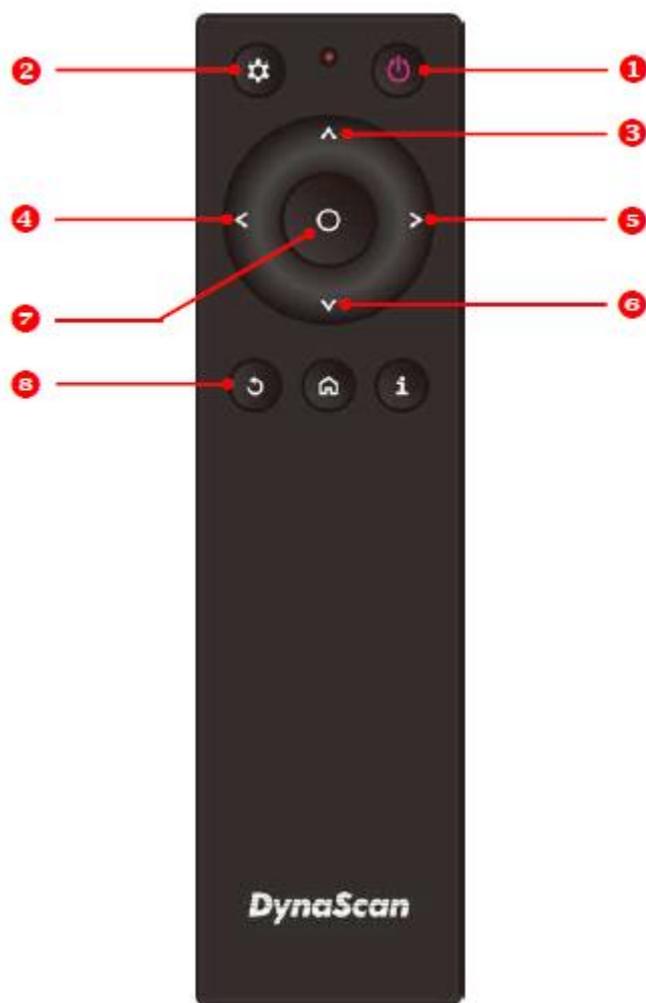
リモコンを使用する際は、ディスプレイ上の IR 受信機に向けて使用してください。本モデル DS491LT4 の IR 受信機はディスプレイの背面にあり、受信角度は 100 度です。リモコンの操作範囲は 2.5 メートル（8 フィート）です。正面などよりセットの画面を見ながら操作をする場合は、同梱の IR リモコンセンサー ESK302 を接続してご使用ください。

本モデルの IR リモコン操作ボタンの構成は下図を参照してください。

環境光がリモコンの性能に影響する場合があります。蛍光灯やネオンライトの側での使用は避けてください。



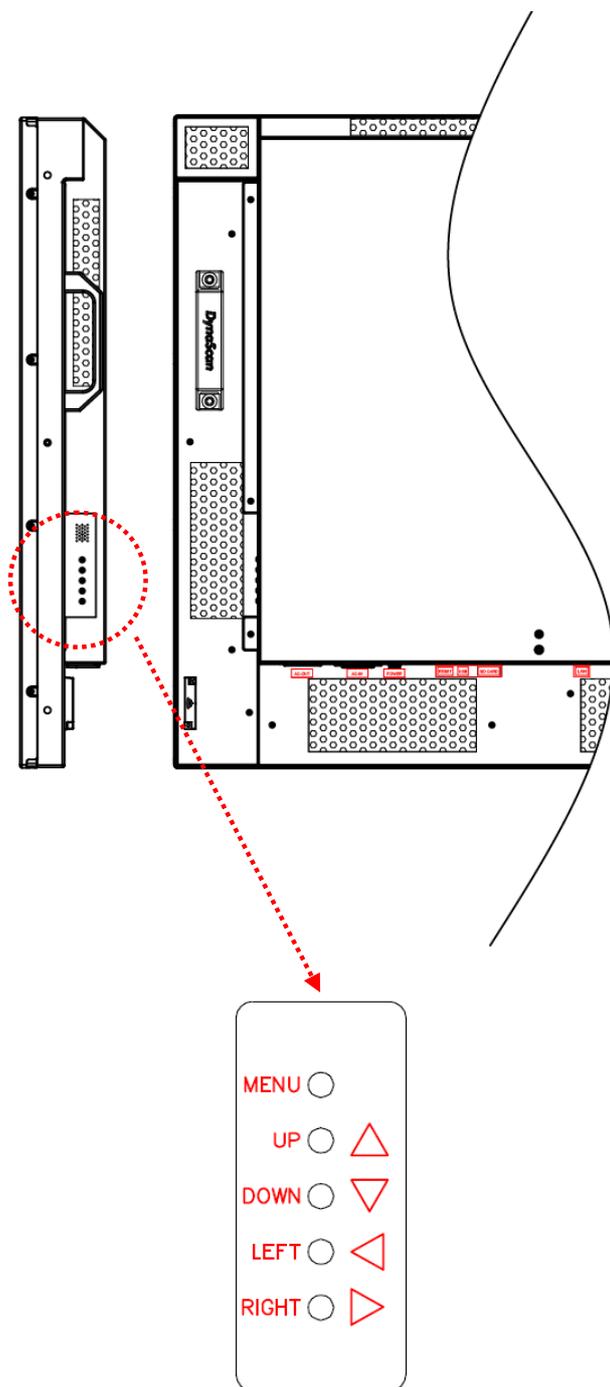
リモコンの使用方法（続）



モデル/型式により色や形状が異なる場合があります。

アイテム		説明
①	POWER（電源）	電源オン/オフ
②	MENU（メニュー）	OSD オン/オフ
③	UP（上）	カーソルを上に移動したり、選択したアイテムの設定を変更します。
④	LEFT（左）	現在の選択を終了します。
⑤	RIGHT（右）	ハイライトしたアイテムを選択します。
⑥	DOWN（下）	カーソルを下に移動したり、選択したアイテムの設定を変更します。
⑦	OK	確定（DSM365のみ）
⑧	戻る	前のページに移動します。（DSM365のみ）

リアパネルコントロールスイッチの使用方法



アイテム	説明
MENU (メニュー)	OSD をオン/ オフ、電源をオン/ オフします。
UP (上)	カーソルを上に移動したり、選択したアイテムの設定を変更します。
DOWN (下)	カーソルを下に移動したり、選択したアイテムの設定を変更します。
LEFT (左)	現在の選択を終了します。
RIGHT (右)	ハイライトしたアイテムを選択します。

オンスクリーンディスプレイ (OSD)メニュー操作方法

リアパネルコントロールスイッチまたはリモコンのMENU（メニュー）ボタンを押してOSDを表示します。矢印キーを使用してメニュー項目を選択し、調整します。

Input Source	Main	HDMI
Picture	Failover 1	DP
Time	Failover 2	DVI
Video Wall	Failover 3	DSM365
Backlight		
Advance		

* Failoverとは優先している入力信号が何等かの理由で途絶えた場合にバックアップとして次の信号を再生する為の設定。左の場合はHDMI信号がメイン、もし信号がなくなったらDP→DVI→DSM365(内蔵メディアプレイヤー)の順で入力のある信号を再生。

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Input Source (入カソ-ス)	Main (メイン)	HDMI	メイン入力を表示するよう設定します。
	Failover (フェールオーバー) 1	DP	フェールオーバー1入力を表示するよう設定。
	Failover (フェールオーバー) 2	DVI	フェールオーバー2入力を表示するよう設定。
	Failover (フェールオーバー) 3	DSM365	フェールオーバー3入力を表示するよう設定。

Input Source	Color Temperature	User
Picture	R	100
Time	G	100
Video Wall	B	100
Backlight	Contrast	50
Advance	Gamma	Native
	Black Level	RGB Full

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Picture (ピクチャー)	Color Temperature (色温度)	D65	色温度を選択します。 (User (ユーザー)、D93、D65、D55)
	R (レッド)		レッドライトのレベルを調整します。レンジ 0-100。注：この機能はユーザーモードでのみサポートしています。
	G (グリーン)		グリーンライトのレベルを調整します。レンジ 0-100。注：この機能はユーザーモードでのみサポートしています。
	B (ブルー)		ブルーライトのレベルを調整します。レンジ 0-100。注：この機能はユーザーモードでのみサポートしています。
	Contrast (コントラスト)	50	コントラストレベルを調整します。 レンジ 0-100。
	Gamma (ガンマ)	Native (ネイティブ)	ガンマ値を調整します。 (ネイティブ、2.2、2.4、Sガンマ)
	Black Level (ブラックレベル)	RGB Full (RGB フル)	ブラックレベルを選択して画面のグレースケールを調整します。ビデオソースに対し「Limited(制限)」にするとHDMIと同様にRGBの16~235階調を使用します。ビデオソースに対し「RGB Full (RGB フル)」にすると0から255の全階調を使用します。

Input Source	Current Date	2017/01/01
Picture	Current Time	12:00:00
Time	Day of Week	Monday
Video Wall	Daylight Saving	Off
Backlight	Power Control Timer	Off
Advance	Power On Time	00:00
	Power Off Time	00:00

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Time (時間)	Current Date (現在の日付)	YYYY:MM:DD (年/月/日)	日付を設定します。
	Current Time (現在の時刻)	HH:MM:SS (時/分/秒)	時計を設定します。注：内部時計は電源がオフの間も機能しています。
	Day of Week (曜日)	Monday (月曜日)	曜日を設定します。(月曜日～日曜日)
	Daylight Saving	Off (オフ)	DST設定をオン・オフします。
	Power Control Timer (電源タイマー)	Off (オフ)	電源自動スケジュール機能をオン/オフします。
	Power On Time (電源オン時間)	HH:MM (時/分)	電源オン時間を設定します。
	Power Off Time (電源オフ時間)	HH:MM (時/分)	電源オフ時間を設定します。

Input Source	Number of Rows	1
Picture	Number of Columns	1
Time	Row Position	1
Video Wall	Column Position	1
Backlight	Bezel Compensation	On
Advance		

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Video Wall (ビデオウォール)	Number of Rows (行数)	1	ビデオウォールの行(垂直ディスプレイ)の数を設定します。注：デージーチェーンでの最大行数は15です。
	Number of Columns (列数)	1	ビデオウォールの列(水平ディスプレイ)の数を設定します。注：デージーチェーンでの最大列数は15です。
	Row Position (行の位置)	1	ビデオウォール内での垂直位置を指定します。
	Column Position (列の位置)	1	ビデオウォール内での水平位置を指定します。
	Bezel Compensation (ベゼル補正)	On (オン)	フレーム補正機能のオン/オフを選択します。オンの場合、ディスプレイは画像を正確に表示できるよう画像調整して、ディスプレイベゼルの幅を補正します。

Input Source	Auto Brightness	Off
Picture	High Level	100
Time	Low Level	15
Video Wall	High Level Time	00:00
Backlight	Low Level Time	00:00
Advance	Local Dimming	Medium

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Backlight (バックライト)	Auto Brightness (輝度自動調整)	Off	輝度の自動調整のオン/オフを設定します。 注：輝度自動調整がオフになっている場合、ディスプレイの輝度はHIGH LEVEL（高レベル）の値で維持されます。輝度自動調整がオン（自動）になっている場合、ディスプレイの輝度は環境光に基づいて調整されます。環境光が明るい場合、画面の輝度の値はHIGHLEVEL（高レベル）設定となり、環境光が暗い場合はLOW LEVEL（低レベル）設定となります。 タイマーモードが設定されている場合、ディスプレイは設定時間に基づいて自動的に輝度を切り替えます。
	High Level (高レベル)	100	輝度を最高レベルに調整します。 レンジ 0-100
	Low Level (低レベル)	15	輝度を最低レベルに調整します。 レンジ 0-100
	High Level Time (高レベル設定時間)	HH:MM	高レベルに切り替える時間を設定します。
	Low Level Time (低レベル設定時間)	HH:MM	低レベルに切り替える時間を設定します。
	Local Dimming (ローカルディミング)	Medium	コントラストを調整します。High(高)は最もコントラストが高く、Off (オフ)は最もコントラストが低くなります。(オフ、低、中、高)

Input Source	Display Mode	Auto
Picture	Screen Protection	Off
Time	IR Control	On
Video Wall	Power Off Mode	Standby
Backlight	Volume	100
Advance	Reset to Default Setting	Off

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Advance (アドバンス)	Display Mode (表示モード)	Auto (自動)	メニューの向きを変更します。メニューはLANDSCAPE(横置き)あるいは PORTRAIT(縦置き)モードで表示できます。
	Screen Protection (スクリーンの保護)	Off (オフ)	画像の焼き付け保護をオン/オフにします。画像焼き付け保護の間隔を設定します。レンジ 1-100

IRControl (IR コントロール)	On (オン)	メニュー用のリモートコントロールを有効化/無効化します。 注 ：無効化した後は、ディスプレイのコントロールパネルまたは DynaScan 「Display Manager (ディスプレイマネージャー)」アプリケーションから再度リモートコントロール機能を有効にできます。
Power Off Mode (電源オフモード)	Standby (スタンバイ)	電源オフモードの場合、RS-232 コントロールは機能しません。ディスプレイを起動できるのはディスプレイ上の [Main Power Switch] (主電源スイッチ) またはリモコンの [Power Button] (電源ボタン) のみです。
Volume (音量)	100	音量を設定します。レンジ 100 - 0
Reset to Default Setting (出荷時の状態に戻す)	Off (オフ)	すべての設定をデフォルト設定にリセットします。 注 ：現在時刻、電源オン時間、電源オフ時間はリセットされません。

Information 1	Resolution	HDMI 1920x1080
Information 2	Model	DS491LT4
Information 3	Serial Number	491LT4XXXXXXXX
	Hardware	XXXXX
	Firmware	XX.XX.X
	Color Depth	8 bits

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Information 1 (情報 1)	Resolution (解像度)		解像度を入力します。
	Model (モデル)	DS491LT4	ディスプレイのモデル名です。
	Serial Number (シリアル番号)		ディスプレイのシリアル番号です。
	Hardware (ハードウェア)		ハードウェアバージョンです。
	Firmware (ファームウェア)		ファームウェアバージョンです。
	Color Depth (色深度)		現在の入力の色深度です。

Information 1	Temperature (BLU)	27°C/ 80°F
Information 2	Temperature (Amb.)	No Connection
Information 3	ALS Level (Amb.)	10

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Information 2 (情報 2)	Temperature (BLU) (バックライトユニット温度)		LCD 内部 (バックライトユニット) 温度モニタリング。
	Temperature (Amb.) (外部温度)		LCD の外部 (環境) 温度モニタリング。 (温度センサー設置が必要です)
	ALS Level (Amb.) (環境光センサーレベル)		環境光の明るさのモニタリング。 (環境光センサー)

Information 1	Over Heat Protection	Inactive
Information 2		
Information 3		

アイテム 1	アイテム 2	デフォルト	説明
Information 3 (情報 3)	Over Heat Protection (過熱保護)	Inactive (非アクティブ)	ディスプレイの内部温度が過熱して、仕様範囲を超えるような事態になった場合に、事故を防ぐ為に保護モードに入り、熱量を落とす為に輝度を自動的に低下させます。温度が下がると保護は解除され、輝度は元に戻って過熱保護が非アクティブ状態になります。本モードが Active の場合は故障や事故を防ぐ為、電源を落としてください。



*Over Heat Protection (過熱保護) 機能は発火などの重大な事故を回避するためのもので、製品仕様温度を超えた状態で長時間ご使用になりますとセットの故障の原因となりますのでご注意ください。

*本製品の RGB の各値は、生産過程でプリセットされている色温度 6500K に合わせて個々に調整されています。

仕様

モデル	DS491LT4	
パネル	LCD パネルサイズ	48.5 インチ
	ネイティブ解像度	1920 x 1080
	輝度	4000 cd/m ² (標準)
	コントラスト比	3,000:1
	応答速度	8 ms (標準)
	表示角度	178°/ 178°
	ランプライフタイム	100,000 時間 (動作温度が一定の場合)
	パネル表面	AR Haze <2%, 2H
電力	電源	内蔵
	定格電圧	100 ~ 240V, 50 / 60Hz
	電源オンモード	標準 160W / 最大 230W
	スタンバイモード	1W 以下
機械的仕様	ベゼル幅 (上部/下部/左/右)	8.7 / 8.7 / 8.5 / 8.5 mm
	キャビネットの色	ブラック
	モニター寸法 (長 x 高 x 奥行、 スタンドは含まず)	1096.7 x 627.2 x 82.7 mm
	セット重量 (セット/パッケージ)	19.6 kg / 26.5 kg
	VESA マウント (寸法)	4 穴 (400x400 mm)
操作方法表示	OSD 言語	英語
環境	作動時の温度	0°C ~ 45°C
	保管温度	-20°C ~ 60°C
	湿度	10%~80% RH 結露なし
I/O ポート	DVI-D	入力 x1 / 出力 x1 (HDMI 対応)
	DP	入力 x1
	HDMI	入力 x1
	RS-232	入力 x1 / 出力 x1
	オーディオ	出力 x1
	RJ-45	x1
	SD カード	x1
	USB2.0 ポート	x1
ヒューズ	DS491LT4	5A

*仕様は、予告なく変更する場合がございます。

入力モード

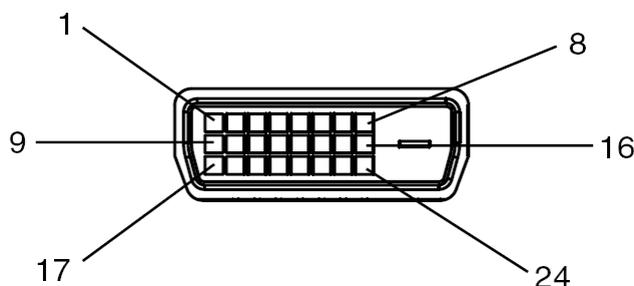
アクティブ解像度		リフレッシュレート	ピクセル比率	縦横比
水平ピクセル	水平ピクセル			
640	480	60 Hz	25.175 MHz	4:3
720	480	59.94 Hz	27 MHz	4:3
800	600	60 Hz	40 MHz	4:3
1024	768	60 Hz	65 MHz	4:3
1280	720	60 Hz	74.25 MHz	16:9
1280	768	60 Hz	79.5 MHz	5:3
1360	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9
1920	1080	60 Hz	148.5 MHz	16:9

* 接続するコンピューターによっては、上記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。

ピン配列

デジタル RGB 出力 (DVI-D) : DVI

DVI コネクターのピン配列					
01	TX2-	09	TX1-	17	TX0-
02	TX2+	10	TX1+	18	TX0+
03	シールド (TX2 / TX4)	11	シールド (TX1 / TX3)	19	シールド (TX0 / TX5)
04	非接続	12	非接続	20	非接続
05	非接続	13	非接続	21	非接続
06	DDC-Serial Clock	14	+5V power	22	シールド (TXC)
07	DDC-Serial Data	15	Ground アース	23	TXC+
08	非接続	16	Hot plug 検出	24	TXC-

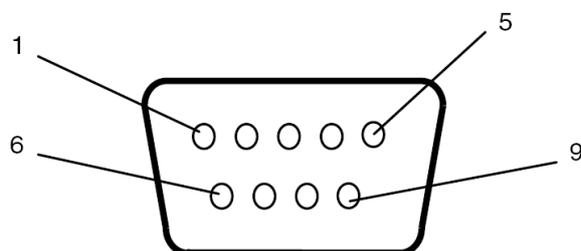


デジタル RGB 入力 (DVI-D) : DVI

DVI コネクターのピン配列					
01	RX2-	09	RX1-	17	RX0-
02	RX2+	10	RX1+	18	RX0+
03	シールド (RX2 / RX4)	11	シールド (RX1 / RX3)	19	シールド (RX0 / RX5)
04	非接続	12	非接続	20	非接続
05	非接続	13	非接続	21	非接続
06	DDC-Serial Clock	14	+5V power	22	シールド (RXC)
07	DDC-Serial Data	15	Ground アース	23	RXC+
08	非接続	16	Hot plug 検出	24	RXC-

RS-232 出力

PIN No.	名称
01	7と8に接続
02	RXD
03	TXD
04	6に接続
05	GNDアース
06	4に接続
07	1と8に接続
08	1と7に接続
09	非接続



RS-232 入力

PIN No.	名称
01	7と8に接続
02	TXD
03	RXD
04	6に接続
05	GND アース
06	4に接続
07	1と8に接続
08	1と7に接続
09	非接続

トラブルシューティング

問題点	推奨される解決策
画像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ケーブルがしっかりと挿入されているか確認してください。 ●メインスイッチがオンの位置になっているか確認してください。また電源コードがしっかりと挿入されているか確認してください。 ●画像ソースの解像度形式をサポートしているか確認してください（23 ページの「入力モード」項目参照）。 ●ケーブルが破損または過度に曲げられていないか確認してください。
メインスイッチをオンにしても何も作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードをコンセントから抜き、再度差し込んで数秒待ってからサイネージをリセットしてください。 <p>注：電源コードを抜いても設定は変更されません。</p>
画像が安定しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ケーブルがしっかりと挿入されているか確認してください。
リモコンが機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンに電池が入っているか確認してください。 ●電池が新しいか、プラス/マイナスの向きは正しいか等、ご確認ください。 ●リモコンを操作範囲内で操作しているか確認してください。 ●明るい光がリモコンに干渉している場合があります。リモコンは特定の蛍光灯やネオンライトの近くでの使用は避けてください。
自動オン/オフが機能しない、あるいは正しく機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●メニュー内のTIMER(タイマー) 設定がOFF (オフ) になっていないか確認してください。 ●「Power On Time (電源オン時間)」と「Power Off Time (電源オフ時間)」が正しく設定されているか確認してください。
RS-232 を介してディスプレイを遠隔コントロールできない。	<ul style="list-style-type: none"> ●RS-232 ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

本モデルの問題が解決されない場合は、取扱店または DynaScan まで、直接お問い合わせください。

DSM365 について

DSM365 は、USB メモリーに収納された静止画や動画コンテンツを簡単に再生可能な内蔵メディアプレイヤーです。

1. DSM365 に切り替えるには

—リアパネルコントロールまたはリモコンの MENU（メニュー） ボタンを押して OSD を表示します。

—矢印キーを使用して入力ソースを選択し、調整します。

[Input Source（入力ソース）→ Main（メイン）→ DSM365]

Input Source	Main	DSM365
Picture	Failover 1	HDMI
Time	Failover 2	DP
Backlight	Failover 3	DVI
Advance		

・ リモコンのホームボタンを押します。アンドロイドの画面になりますので、DSM365 を選択して決定ボタンを押して下さい。右下の画面になりましたら準備完了です。



本説明は初めてのご使用時のもので、一旦 USB にコンテンツを入れて挿入すれば、次回からは DSM365 を選択すると自動的に再生を開始いたします。

2. コンテンツについて



再生対応コーデック
静止画：JPG, PNG
動画：MP4



縦設置（Portrait）の場合は、画像の左側が上になるように作成してください。

簡単自動再生の場合、ファイル名順に再生されますの

でファイルの頭部分に再生する順番に 01、02 のように番号を振れば、その順番で再生されます。

例) 001_xxxxxx.jpg
002_yyyyyyy.mp4

3. 簡単再生について

前述のファイルの頭部分に再生する順番に 01、02 のように番号を付けた名前で USB メモリーにセーブされたコンテンツの自動再生の設定方法です。一度設定すれば、新しいコンテンツに切り替える際も本

①



作成されたコンテンツの記録された USBメモリーを差し込んでください。(又はMicro SDカード)

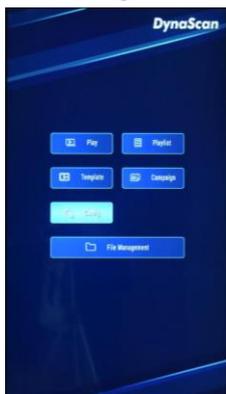
②



リモコンの○(決定) ボタンを押すと③の画面が表示されます。

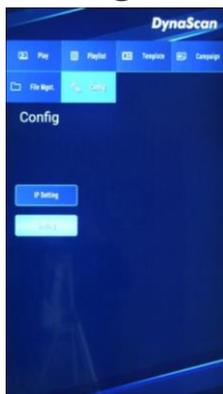
設定は維持されていますので、簡単にコンテンツの更新・再生を行うことができます。*DSM365 オペレーティングシステム使用方法詳細については別冊をご覧ください。

③



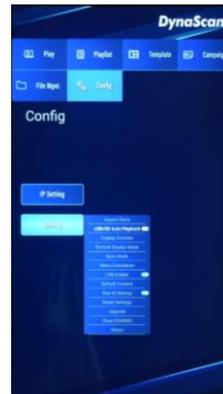
リモコンの上下左右キーを押して"Config"に合わせ(ハイライトになります)、決定を押してください。

④



次に"Setting"を選択し決定ボタンを押してください。

⑤



"USB Auto Playback"を On にしてください。

⑥



次に"Display Duration"を選択し、再生される静止画面の秒数を決めます。

⑦



5秒、10秒、30秒から選びOKを押します。(※動画コンテンツはその長さでのみ再生)

⑧



リモコンの○ ボタンを数回押しすると自動的に再生が始まります。

www.dynascadisplay.co.jp

www.dynascanusa.com

ダイナスキャン・テクノロジー・ジャパン株式会社
〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 888 番地

Copyright © DynaScan Technology, Inc. All Rights Reserved.